

井原さくらライオンズクラブ会報

2005～2006 年度会長スローガン

地域に親しまれ、全員参加の奉仕

会長 小田上 進

本年度我がクラブは、1981年6月28日認証状をお受けして、早や25周年を迎えることとなります。当時に比べると、社会状況、経済的にも変化し、会員維持、増強など厳しくなっております。

その様な中、次のアクティビティ事業に取り組んでいるところです。

児童生徒の音楽教育の振興に協力

植樹及び献血・献眼登録の推進

大田原LCとの親善交流 [姉妹提携 1984.10.31]

文化・スポーツ事業の奨励

交通事故防止に努力する

資金獲得のためチャリティバザーを実施

特に本年度は、会員増強の為に、地域の皆様に親しまれるアクティビティを強調し、青少年の健全育成、情操教育に努めたい。25周年を期に今一度会員一丸となり、井原さくらライオンズクラブの存在感をアピールし、新会員増強につなげたい。そして、認証25周年記念式典を全員で祝そうではありませんか。最後になりましたが、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



「変革の時代、大衆と共に歩む意識改革を」

幹事 河合建志

この度、井原さくらライオンズクラブの幹事という大役を仰せつかりました河合です。

一般社会の風潮は、定年後の元気な高齢者が増え、シルバーセンターやNPO等々のボランティア精神に基づく活動が多く見られるようになりました。私が一般の方々に尋ねたライオンズクラブに対する感想は、「金持ちの仲良しクラブの集団で、特権階級の人々が寄付をするのは当たり前」とのことでした。我々と一般大衆との間に大きな心の距離を感じました。

我々は会員としてのプライドは、良し悪しにかかわらず胸に秘め、住民や他の団体と共に手を携えて地域に密着した活動をしていかなければ、ライオンズクラブは浮いた存在になりかねません。会員の減少傾向の対応策にもなると思います。

私事で大層恐縮ですが、突然の身体不調と、公務等の日程がダブることが多々あるのではないかと、小田上会長や皆様方に大層ご迷惑をお掛けすることを誠に申し訳なく、心より深くお詫び致します。現在、不安と緊張を強く感じている心境です。使命感をもってベストを尽くす所存ですので、何卒皆様のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。



会計 朝原孝義

強引な小田上新会長の要請に絆されて、仕事の多忙もわきまえず、引き受けてしまいました。精一杯勤めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。



一年を顧みて

感謝の一年。

前会長 高橋則之

昨年は台風・水害・地震と災害の多い年でした。そのボランティアに多くの参加をいただき、二つの年次大会・記念ゴルフ大会、そしてすべての行事に「育てよう 我が故郷の 小さな芽」のスローガンのもと、大山幹事をはじめ、メンバー・事務局が一丸となってご協力いただいたお蔭で、一年を終えることができました。貴重な経験と、皆様のご協力に再度お礼を申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。



新潟県中越地震の被災者へメンバーの持ち寄ったタオルを送付。



芳井町東吉井FOS少年団の子供たちと道路脇の缶拾い。



前幹事 大山和利

高橋会長のもと、幹事の職務が全うできるかどうか、不安と緊張の中スタートした1年でありましたが、役員、メンバー、事務局の皆様方のご協力を頂き、それぞれの事業が出来ましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

また、地区大会、複合地区大会と引き続きご協力頂き、重ねてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。この貴重な経験をこれからのさくらLCの発展に、微力ではございますが、全力で勤めてまいりますので、よろしく願いいたします。



前会計 浅田敏夫

高橋会長、大山幹事の元で会計という役をご一緒させていただき、無事終わることが出来て、うれしく思っています。そして、さくらLCメンバー全員のご協力ありがとうございました。



農林祭にてチャリティバザーと献血



2004～2005 年度

336-B 地区 6R 環境保健委員 西山徹也



2004～2005 年度 336-B 地区環境保健委員会（環境保全・保健福祉・アイヘルス）に 6R の委員として出席した一年間を振り返ってみました。

私は仕事の関係で、比較的近隣の人との付き合いが多いのですが、各地区から出席された個性をもった方々と知り合うことができ、大変有意義に活動できました。

今年は 6 月から気温が 35.6 になるというように地球温暖化などの環境問題は大変重要な課題です。一人ひとりが環境問題を意識することが大切です。

また、環境保健委員会の今年のテーマであった角膜摘出医療機(Micro Keraton)、角膜検査・解析機(Kero Analyzer)の医療機関への寄贈事業等に、皆様にご協力頂き、ありがとうございました。

2005～2006 年度

336-B 地区 6R YE 国際協調委員 飯居康弘



本年度、地区 YE・国際協調委員に任命され、身の引き締まる思いでいっぱいです。LC 国際協会の YE 青少年交換プログラムにおける YE 事業は、国際的視野に立った青少年の育成をめざした重要な事業で、派遣と受入れ及び国際ユースキャンプがありますが、いずれも各クラブメンバーはもちろん、一般の方々にもご協力をいただき、はじめて成し得る事業であると思います。

微力ではありますが、一所懸命頑張ってまいりたいと思いますので、皆様方のご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



給水制限をしたり、長雨が続きたり、そして猛暑・・・気候不順が続いていますが、大きな災害が起こらないことを祈りながら、昨年を振り返ってみました。本年度は手作りで簡単に事業を紹介していきたいと思います。

IT・PR会報編集委員